

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

日野デュトロ(2016 年モデル以降)

車線逸脱警報装置の初期設定(フロントカメラのエーミング)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.日野デュトロ(2016 年モデル以降)の車線逸脱警報装置の初期設定(フロントカメラのエーミング)の概略

- 日野デュトロ(2016 年モデル以降)では、車線逸脱警報装置を構成する画像センサー(フロントカメラ)の交換や、取外しをおこなったとき、スキャンツールの作業サポート「LDWS 光軸調整画面」を使用して「車線逸脱警報装置の初期設定(フロントカメラのエーミング)」を行います。
- 「車線逸脱警報装置の初期設定(フロントカメラのエーミング)」は手順の概略は以下となります。

調整用ターゲットボードの準備など、
作業の準備をする。
(2 ページの手順 01)



スキャンツールの「LDWS 光軸調整画面」で
「個別学習」か「一括学習」を実行する。
(2～5 ページの手順 02～06)

- なおスキャンツールの作業サポート「LDWS 光軸調整画面」を使用した「車線逸脱警報装置の初期設定(フロントカメラのエーミング)」の方法は「個別学習」と「一括学習」の 2 種類がありますが、本書では「個別学習」で手順を紹介します。

(次ページに続きます)

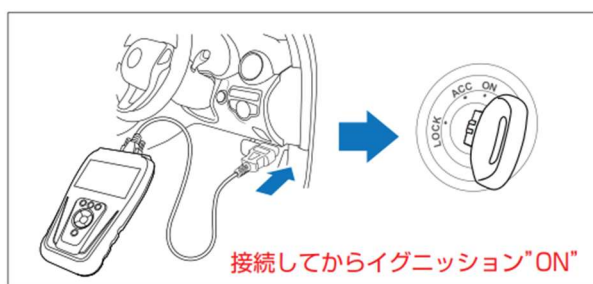
2.HDM-10000 用日野診断ソフトによる車線逸脱警報装置の初期設定_個別学習での例

【手順 01:車線逸脱警報装置の初期設定の準備】

- ①整備解説書を参照して調整用ターゲットボードを用意してください。
- ②車両を空車状態にしてください。
- ③整備解説書に記載されている「設置に適している場所」を参照して車両を設置してください。
- ④車両側キースイッチを OFF にしてください。
- ⑤整備解説書を参照して上記①で用意した調整用ターゲットボードの設置ポイントを車両前方の所定の位置に 3 ケ所マーキングしてください。
- ⑥上記①で用意した調整用ターゲットボードを上記⑤でマーキングした 3 ケ所の設置ポイントのうち、車両の中心に位置する設置ポイントに設置してください。

【手順 02:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側イグニッションキーを ON にしてください。
- ③HDM-10000 メニュー内の特殊機能を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 03:エーミングの起動から日野の選択まで】

- ①特殊機能が表示されたらエーミングを選択して ENTER キーを押してください。



- ②エーミングが表示されたら画面の左側の一覧から「エーミング作業」を選択し、次に画面の右側の一覧から「日野」を選択して ENTER キーを押してください。



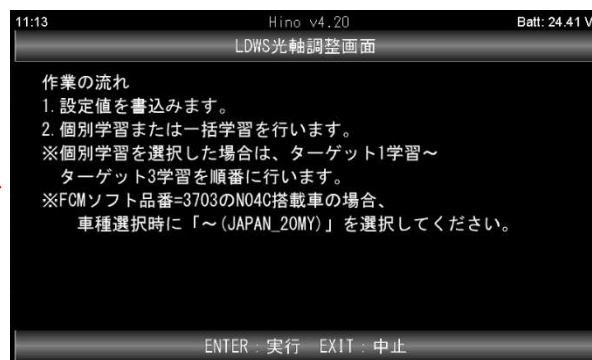
(次ページに続きます)

【手順 04:LDWS 光軸調整画面の起動と車種などの選択】

- ①車両選択の画面が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「接続確認中しばらくお待ちください。」などの画面が表示されたあとにエーミングモードが表示されたら「FCM:前方画像認識センサー」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②FCM:前方画像認識センサーが表示されたら「LDWS 光軸調整画面」を選択して ENTER キーを押してください。作業の流れが表示されるので内容を確認してから ENTER キーを押してください。



- ③車種選択が表示されたら該当する車両型式を選択して ENTER キーを押してください。仕向け選択が表示されたら「日本」を選択して ENTER キーを押してください。



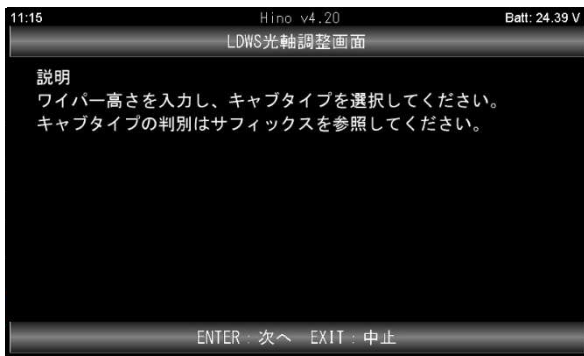
- ④「ホイールベースの長さを変更していますか？」が表示されたら、変更されていないことを確認して EXIT キーを押してください。



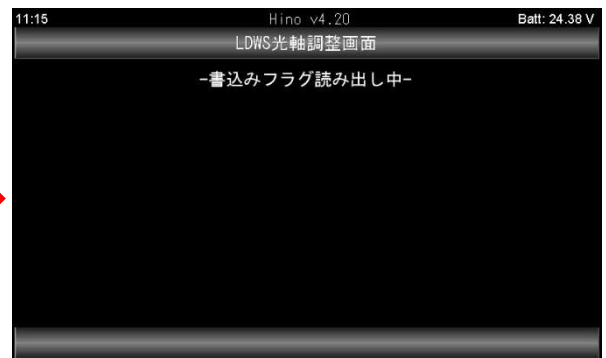
(次ページに続きます)

【手順 05:ワイパーの高さ入力から個別学習の選択まで】

- ①説明が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。次に表示されるワイパー高さの画面で車両側のワイパーの高さを上下左右キーで数値を入力して ENTER キーを押してください。



- ②「レンズ情報書込み中」が表示され、次に「書込みフラグ読み出し中」が表示されます。



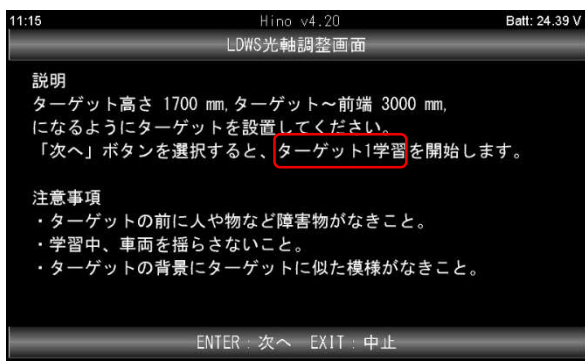
- ③ターゲット学習方法の選択画面が表示されたら「個別学習」を選択して ENTER キーを押してください。



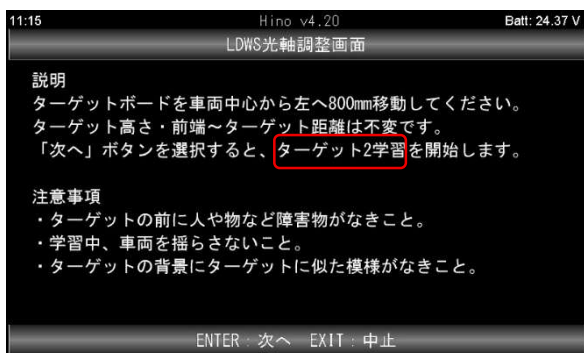
(次ページに続きます)

【手順 06:個別学習/ターゲット 1 学習～ターゲット 3 学習の実行】

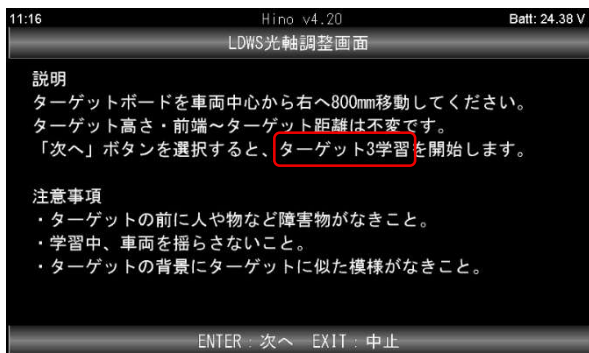
- ①ターゲット 1 学習の画面が表示されます。調整用ターゲットボードの設置位置を確認後、ENTER キーを押してください。ターゲット 1 学習要求中の画面が表示され、ターゲット 1 学習が実行されます。



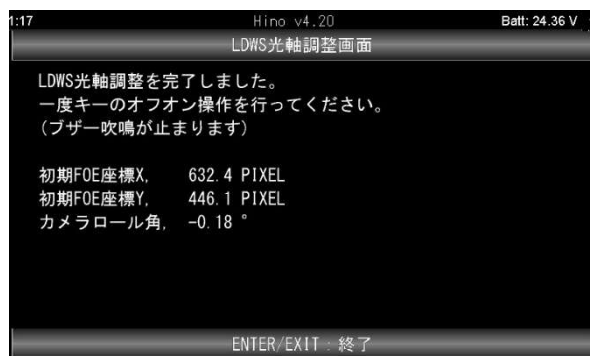
- ②ターゲット 1 学習が完了するとターゲット 2 学習の画面が表示されます。調整用ターゲットボードの設置位置を確認後、ENTER キーを押してください。ターゲット 2 学習要求中の画面が表示され、ターゲット 2 学習が実行されます。



- ③ターゲット 2 学習が完了するとターゲット 3 学習の画面が表示されます。調整用ターゲットボードの設置位置を確認後、ENTER キーを押してください。ターゲット 3 学習要求中の画面が表示され、ターゲット 3 学習が実行されます。



- ④ターゲット 1 学習からターゲット 3 学習が正常に完了すると右の画面が表示されます。
表示の内容にしたがってイグニッションキーの OFF から ON の操作をおこなって ENTER キーを押して完了です。



(2025.7 発行)